

2012-B					
拠出金・基金の名称:		経済協力開発機構・開発援助委員会(OECD/DAC)			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 経済協力開発機構(OECD)					
【所管官庁担当局課・室名】: 外務省国際協力局開発協力企画室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 DACの活動に我が国の拠出金を用いることにより、DACの議論に我が国として方向性を与え、我が国が国際的な援助コミュニティでイニシアティブを発揮し、その理念や具体的な援助アプローチを主流化していくもの。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成24年度	13,440	120	-	1ユーロ = 112円	100%
平成23年度	27,750	231	-	1ユーロ = 120円	100%
平成22年度	14,401	107	-	1ユーロ = 134円	100%
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 OECD/DACは援助政策を議論するフォーラムであり、援助に関する国際的な潮流の形成に大きな影響力を有する。DACは、ODAの定義を始めとする援助に関する国際規範等の策定、ODA量の集計等を行っており、DACが援助に関する議論に果たす役割は大きい。そのため、我が国の援助に関する考え方をDACの中で主張していく必要がある。これまでに、DACにおける我が国の主張は、国際的な援助規範として認知されているパリ宣言や釜山ハイレベルフォーラム成果文書等の策定に際して反映されてきている。DACに対して拠出を行うことは、我が国の理念やアプローチを主流化していく観点から重要である。					